



山本 敏幸 教授

研究分野(領域)：教育工学・e-ラーニング
(インストラクショナル・デザイン、学習理論、アセスメント)
所属学会／CIEC・情報処理学会・
日本工学教育協会

2002年3月までアメリカの高等教育に20年ほどかかわってきました。その間に身に付けた教育哲学、e-Learningの考え方を教育に実践しています。古い慣習や型にはまらないように、コンストラクティビズムの学習理論を基礎として、学習者中心の授業・指導を目指しています。

e-Learningの学習環境、コンテンツ開発環境に携わっているのが、新しいIT技術をいかにして教育の場に活用していくかが研究の主体です。例えば、e-Learningにおける学習効果の高いインタラクティブ性の研究やe-ポートフォリオを如何に生涯学習の支援に活用していくかといった研究を行っています。

また、学習者の視点から学習者タイプ、学習者のレベルやニーズに応じてコンテンツレベルやインタラクティブ性の度合いを可変できるような e-Learningシステムの研究・開発に努めていきたいと思っています。自分自身のための生涯学習の基盤となるバーチャル学習空間も創造制作中です。

略 歴

- 1992年 Rose-Hulman Inst. of Tech., Indiana, USA, Assistant Professor,
- 2002年 Indiana State University 大学院教育学部 Media Technology 専攻 Ph.D.取得
- 2003年 金沢工業大学 教授
- 2010年 関西大学 教授

主な著書・論文

"THE DIFFERENCE OF INFORMATION TECHNOLOGY VISIONS BETWEEN THE FACULTY AND STUDENTS IN THE ENGINEERING LAPTOP INSTITUTION"

「KITにおける教員のICT活用による教育力向上の取組(FD)状況 工科系ラップトップ大学の視点から見たe-ラーニング構想の中のFD」、National Institute of Multimedia Education 単著 東京 2008.03 pp.55~62

"Interactivity in Learning Enhanced by Virtual Tutors in E-Learning contents" 単著 ED-MEDIA 2008, Vienna, Austria, 2009.06

"e-Portfolio: Comparison of WebCT and Desire2Learn" 共著 Desire2Learn Workshop 2009. Minneappolis, WI, USA. 2009.07 (中沢実と共著)

"A Proposal for Measuring Interactivity that Brings Learning Effectiveness", 単著 Technology Enhanced Learning Conference, TELearn 2009. Taipei, Taiwan. 2009.10. Also published: Knowledge Management & E-Learning: An International Journal, Vol.2, No.1. 2010.3 ISSN 2073-7904



岩崎 千晶 助教

研究分野(領域)：教育工学・
学習環境デザイン
所属学会／日本教育工学会・
日本教育メディア学会・大学教育学会

私は、ICT (Information and Communication Technology) を活用した学習環境デザインを専門としています。これまでに複数の学部の先生方と共に、CEASを活用した多人数講義における学習者同士のやり取りを促す授業やTAを活用した授業などを考え、新たな授業実践のお手伝いさせていただきました。先生方と意見交換しながら学習環境をデザインするプロセスはとて楽しく、学ばせていただくことも多く、日々感謝しております。これからも多くの先生方と話をし、学習環境デザインについて考えていきたいと思っています。ぜひ先生の話を聞かせてください！連絡お待ちしております！

(ciwasaki@kansai-u.ac.jp)

略 歴

- 2000年 富士ゼロックス株式会社 入社
- 2009年 京都外国語大学国際言語平和研究所 研究員
- 2010年 関西大学総合情報学研究所 博士課程後期課程修了 博士(情報学)
- 2010年 関西大学 助教

主な著書・論文

『映像メディアのつくり方—情報発信者のための制作ワークブック—』, 北大路書房, 2008.01 (久保田賢一, 中橋雄と共著)

「LMSの活用事例から見る授業改善の試みと組織支援」, 日本教育メディア学会『教育メディア研究』, 第14巻2号, 2008.03, pp.1~10 (久保田賢一, 冬木正彦と共著)

"Analysis of Problems and needs for Instruction Reform In Higher Education", International Journal of Educational Media and Technology" Vol. 2, 2008.08, pp.55~64, M.Kishi, Y. Imaoka, T.Konno and T. Mizukoshi

「組織的な教員支援としてのスチューデント・アシスタントの効果と課題」, 日本教育工学会『日本教育工学会論文誌』, 第32号増刊号, 2009.02, pp.77~80 (久保田賢一, 水越敏行と共著)

■スタッフ 教育推進部／三浦真琴 教授 (研究分野：教育社会学、高等教育論) 須長一幸 助教 (研究分野：哲学、高等教育論) 研究員 (授業支援グループアドバイザースタッフ)／ 遠海友紀 (総合情報学研究所博士課程後期) 齊尾恭子 (文学研究科博士課程前期修了) 今岡義明 (総合情報学研究所博士課程前期修了)

From
センター長 「マタイ受難曲」で思うこと

最近、親しい友からJ. S. Bachの「マタイ受難曲」を薦められ、初めて全曲を聴く機会を得ました。クラシック音楽を足掛け四十数年に亘って聴いてきましたが、この歳になるまで全曲に触れる機会に恵まれなかったようです。ご存知のよう

に、新約聖書の「マタイの福音書」をテキストにした宗教音楽です。この中に、イエスが12人の使徒に質問し、その答えについて、さらに話かける場面が度々出てきます。この曲を聴き進んでいくにつれて、師弟が真摯な態度で対話するという

ことが、教育の原点であるということ強く感じることができました。春とともに新入生を迎え、新しい学びの時期に、学び(教育)について考えるきっかけとなった「マタイ受難曲」とそれを薦めてくれた友に感謝したいと思っています。

教育開発支援センター長
化学生命工学部教授 **池田 勝彦**



関西大学 教育開発支援センター Kansai University Center for Teaching and Learning

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL: 06-6368-1513 FAX: 06-6368-1514
http://www.kansai-u.ac.jp/ctl/index.html

発行日/2010年6月1日 編集・発行/関西大学教育開発支援センター